《プレスリリース》

2021 年 5 月 11 日

公益財団法人美術文化振興協会

報道ご関係者各位

第 2 回 JAPA 天心賞 受賞者発表

大賞　内田あぐり氏

令和 3 年、公益財団法人美術文化振興協会（理事長 大津英敏、東京都杉並区）は、当財団の顕彰事業として「第 2 回 JAPA 天心賞」（JAPA TENSHIN Prize）の選考会を実施し、受賞者を決定いたしました。

「JAPA 天心賞」は、岡倉天心（1863 年-1913 年）の日本の芸術に果たした功績とその国際性に敬意を表し、令和元年に新設されました。当賞は、日本の伝統文化を基盤とする創作活動やその研究、さらには美術文化を通じて国際交流面でも優れた貢献を果たす者の功績を称えていくものです。

この度、「第 2 回 JAPA 天心賞」大賞受賞者が、伝統性と現代性をもって革新的且つダイナミックな創作活動を展開されてきた内田あぐり氏（1949 年-）に決定しましたので発表いたします。

「第 2 回 JAPA 天心賞」受賞記念展は以下の予定で開催いたします。

2022 年 3 月 2 日(水)～3 月 7 日(月) 第 2 回 JAPA 天心賞 受賞記念展

会場：日本橋三越本店 本館 6 階 美術特選画廊

＊授賞式につきましては、別途ご案内申し上げます。

本件の概要及び当財団に関して別紙にご案内させて頂きます。

ぜひとも、「第 2 回 JAPA 天心賞」の授賞式、展覧会にご来場頂きますと共に、ご取材、ご紹介を頂きたくお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ】

公益財団法人美術文化振興協会　事務局　（担当：事務局長　加賀谷早苗）

TEL:03-3334-7918　FAX: 03-3334-7919 E-MAIL:info@finearts.or.jp

〒167-0053 東京都杉並区西荻南 4-12-4 携帯電話：090-3104-9475

第２回 JAPA 天心賞　大賞　内田あぐり氏

内田　あぐり

Aguri Uchida

1949 年　東京都港区生まれ

1975 年　武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻日本画コース修了
修了制作優秀賞受賞、創画展で創画会賞受賞（同 87，97）

1993 年　文化庁在外研修員として渡仏、山種美術館賞展で大賞受賞

1999 年　現代日本絵画の展望展でステーションギャラリー賞受賞

2002 年　第１回東山魁夷記念　日経日本画大賞受賞

2003～04 年　武蔵野美術大学在外研修員として渡米

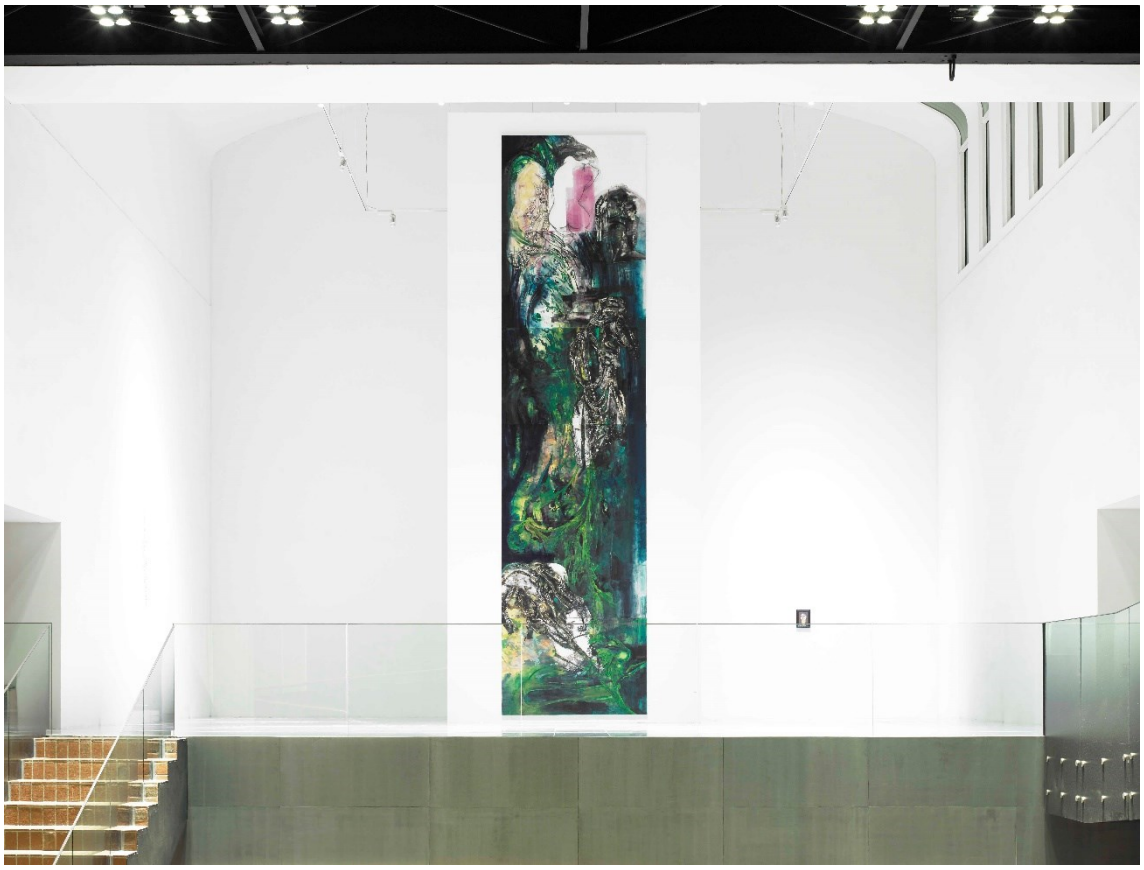
2019 年　第 68 回神奈川文化賞受賞

現在　武蔵野美術大学名誉教授

主なパブリックコレクション

武蔵野美術大学美術館・図書館、平塚市美術館、日本経済新聞社、山種美術館、
横浜美術館、福島県立美術館、東京国立近代美術館、青梅市立美術館、
東日本鉄道文化財団、東京オペラシティーアートギャラリー、
佐久市立近代美術館、KAITA EPTIAPH 残照館、国立市、立川女子高校、
神奈川県立近代美術館

内田あぐり氏　作品



「化身、あるいは残丘」会場風景《残丘ーあくがれ》（左）、《自画像》（右）
photo: 山本　糾

「吊された男　＃00M」（左）、「白い着物の裸婦」（右）photo: 山本　糾

「ドローイング・クロノロジー」photo: 山本　糾

JAPA 天心賞の創設にあたって

公益財団法人美術文化振興協会（JAPA）は、広く美術家の交流を促進し、日本文化の伝統を基盤とした創作活動を奨励するとともに、諸外国との美術文化交流を図ることにより、日本及び諸外国の美術文化の向上と発展に寄与することを目的として活動しています。

JAPA は 1981 年に文部省の認可を得て財団法人美術文化振興協会として発足し、2014 年には内閣府の認可を得、公益財団法人として一層公益に帰することをめざし新たな一歩を踏み出しました。この公益化の折に、当財団の事業として顕彰事業を再興し、芸術家の活動を奨励していく一助となることを念願して参りました。

この度、岡倉天心（1863 年−1913 年）の日本の芸術に果たした功績とその国際性に敬意を表し、当財団の顕彰事業として「JAPA 天心賞」（JAPA TENSHIN Prize）を創設することとしました。岡倉天心は明治以降近代の日本の芸術の発展に貢献されました。また、日本の伝統芸術を国際的に知らしめ、国際交流を進めようとされた所に歴史的な意義が見いだされます。
岡倉天心を思うことは、JAPA の担うべき役割を、また日本の芸術を心して見つめ直すことであります。

JAPA の創設する「JAPA 天心賞」では、日本の伝統文化を基盤とする創作活動やその研究、さらには美術文化を通じて国際交流面でも優れた貢献を果たす者の功績を称えていく所存です。
「JAPA 天心賞」の創設により、日本の美術文化の発展に一層貢献し、日本の優れた芸術家の活動が日本はもとより国際的に拓かれ、多くの人の心を繋いでいくことを祈念いたします。

公益財団法人美術文化振興協会

2019 年 1 月 21 日

2021 年 4 月 30 日

公益財団法人美術文化振興協会(JAPA)

顕彰事業「JAPA 天心賞」概要／日程概観

【事業内容】

・概要:賞を新設し、美術文化に関する優れた業績のある者の顕彰を行う。

・名称:「JAPA 天心賞」

・対象:美術文化に関する顕著な創作活動、さらには国際交流面でも貢献を果たす者の功績を称えていく考えであります。

・時期　:**第 2 回　令和 2 年度～3 年度(2021 年～2022 年)　実施【進行中】**

第 1 回　平成 31 年／令和元年度(2019 年～2020 年)　実施【完了】

受賞候補者推薦／選考／授賞式／受賞記念展覧会開催(東京)

・開催頻度:開始後、隔年に 1 回を目途に開催を見込む。

・顕彰人数:1 回の開催につき大賞 1 名を顕彰。

・作品展示:一般公開される作品展示を 1 週間程度、入場無料で実施する。

・賞金等　:受賞者には賞金と賞状等を授与する。

・主催　　:公益財団法人美術文化振興協会

・受賞者　:**第 2 回 JAPA 天心賞　大賞　内田あぐり氏**

第 1 回 JAPA 天心賞　大賞　岡村桂三郎氏　特別賞　柚木沙弥郎氏

・選考委員:真室佳武氏、酒井忠康氏、建畠哲氏、黒田亮子氏、土方明司氏

【日程】 第 2 回 JAPA 天心賞

2021 年 1 月 21 日～3 月 21 日　受賞候補者の推薦受付

2021 年 3 月下旬～4 月頃　選考委員会実施

2022 年 3 月 2 日(水)～7 日(月)　JAPA 天心賞受賞記念展

(日本橋三越本店　本館 6 階　美術特選画廊)

＊授賞式の日程、開催形式については感染症対策等、諸事情を考慮し検討中。

【受賞候補の対象者】

・評価の対象期間：この度は 2019～2020 年の期間の活動を主に評価頂きます共に、生涯の活動を対象といたしました。

・受賞候補者の対象者：

－日本の伝統文化を基盤とする創作活動を行う芸術家

（絵画〔日本画、油彩画等〕、工芸、彫刻等）

－美術文化の向上と発展に著しく寄与する芸術家（　　〃　　）

－創作活動を通じて国際交流面での貢献を果たす者ないしは将来期待される者

【実施方法】

・顕彰に関する実施要項を当財団理事会で定めて実施する。

・選考方法：受賞者の選考に関して予定している選考方法は以下の通り。

1）当財団理事会が、選定する分野（日本画、洋画、工芸、日本伝統文化研究、国際文化交流等を検討中）及び受賞者の人数、選考基準等を定める。

2）受賞候補者の推薦者を設定する。

3）推薦者は芸術家あるいは団体を対象に調査を行い、受賞候補者の推薦内容を当財団に提出する。

4）当財団が設置する選考委員会（美術文化に関する専門家・有識者によって構成される）において選考される。選考委員は当財団が選考する分野の専門家に委嘱する。

5）選考委員会は受賞候補者を絞り、当財団理事会に提出する。

6）当財団理事会はそれを受けて、受賞者を決定する。

・公開：この顕彰事業は、一般公開される展覧会及びカタログ（無料）等の印刷物の配布やホームページ上への情報掲載により広報する。

【実績】

これまでに実施した当財団の顕彰事業は以下の通り。（敬称略）

1）昭和 56 年（1981 年）宮本三郎記念賞創設。洋画家・宮本三郎の業績を記念し、優れた具象洋画作品を選考し、賞の授与及び受賞作家の回顧展を開催。受賞作家は以下の通り。受賞作家：藤田吉香、國領經郎、奥谷博、浮田克躬、松樹路人、大沼映夫、山下充、島田章三、小松崎邦雄、山本文彦、大津英敏、野田弘志、麻田浩、入江観、山本貞 （全 15 回実施し、平成 9 年（1997 年）に終了）

2）昭和 57 年（1982 年）（財）美術文化振興協会賞を創設し、選考と賞品の授与を行う。受賞作家は以下の通り。

第一回【日本画部門】下保昭、加山又造、工藤甲人、下村良之助、平山郁夫

「明日への展望－日本画の 5 人」展を銀座松屋と大阪大丸で開催

第二回【洋画部門】有元利夫、宇佐美圭司、絹谷幸二 、三尾公三、元永定正

「明日への展望−洋画の 5 人」展を銀座松屋と大阪大丸で開催 （全 2 回実施し、終了）
3）平成 4 年（1992 年）右卿記念賞を創設し、選考と賞品の授与を行う。
受賞作家：鈴木桐華、上松一条、小林抱牛 （全 3 回実施し、終了）
4）令和元年（2019 年）JAPA 天心賞を創設し、「第 1 回 JAPA 天心賞」の選考を実施。令和 2 年（2020 年）授賞式を開催し、賞状と賞金の授与を行う。また、大賞受賞者による「第 1 回 JAPA 天心賞受賞記念展」を日本橋三越で開催。
受賞作家：第 1 回 JAPA 天心賞　大賞　岡村桂三郎、特別賞　柚木沙弥郎

以上

美術文化振興協会の生い立ち

財団法人美術文化振興協会　名誉会長
小和田恆（国際司法裁判所所長）

財団法人美術文化振興協会の誕生は、今から30年前に遡ります。

1977 年夏、福田赳夫総理大臣は ASEAN 諸国を歴訪し、最終訪問地のマニラで歴史的なスピーチを行いました。「心と心の触れあい」に根ざす東南アジア諸国の真の友人としての関係構築を打ち出したいわゆる「福田ドクトリン」は、その後今日までわが国の東南アジアに対する外交の基本となる柱として、内外から高く評価されてきております。

この福田ドクトリンの思想に深く共鳴した山崎覚太郎日展会長（当時）と西春彦元駐英大使が福田総理を訪ね、ASEAN 諸国との人間、文化、芸術の交流を通じた関係強化を目指す美術文化振興協会の設立について同総理の積極的支持を要請したのが本協会発足の端緒でありました。当時総理秘書官としてこのマニラ・スピーチ作成に深くかかわった私が、協会設立のお手伝いをするよう一任されてその創設に協力することになったのは、そういう経緯からのことです。

「日本外交とは経済外交だ」という考え一色に塗りつぶされていた当時の潮流の中にあって、人びとの心と心の交流こそこれからのアジア外交の核心であり、そのためには芸術文化面での国際交流が大切であるという考え方は貴重なものでした。その精神は今日まで本協会の活動の中に脈々と受け継がれております。

財団法人美術文化振興協会は、広く内外の美術分野の交流を促進して日本文化の伝統を基盤とした創作活動の奨励に努めるとともに、伝統美術文化を中心とした国際交流の推進を図ることを目的としております。この目的を実現するため、国内においては、美術文化振興協会賞（日本画・洋画）、宮本三郎記念賞（洋画）、右卿記念賞（書道）を創設して優れた作品を表彰する活動を行ってまいりました。また国際面においては、わが国の伝統美術について、各分野での第一級芸術家に委嘱してその歴史、哲学、実技を三位一体として教授することによって日本文化の本質を理解してもらうことを目指す日本美術文化講座を米国のハーヴァード大学（1982－90）オランダのライデン大学（2005－）など海外著名大学で実施してきております。さらに、東南アジア諸国との工芸分野での技術交流にも力を注いでまいりました。

その生い立ちから明らかなとおり、本協会はグローバリゼーションが進む今日の世界において、異なった社会と社会、人間と人間の間の心の交流こそ真の国際交流の礎を築くという信念に基づいて、これまでの活動をいっそう強化発展させていきたいと願っております。

私どもの志に賛同される皆様方の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。

（※上記は公益財団法人移行前の 2007 年に著述された文のため、法人名等は当時のまま記載しています）

令和３年４月１日現在
公益財団法人美術文化振興協会

公益財団法人 美術文化振興協会 名簿（敬称略）

名誉会長	小和田　恆	国際司法裁判所元所長
会長	近藤　誠一	元文化庁長官
理事長	大津　英敏	日本藝術院会員　多摩美術大学名誉教授　洋画家
常務理事	関　　出	東京藝術大学名誉教授　日本画家
	稲葉　政満	東京藝術大学名誉教授　文化財保存学保存科学研究者
理事	奥谷　　博	文化勲章受章者　文化功労者　日本藝術院会員　洋画家
	絹谷　幸二	文化功労者　日本藝術院会員　東京藝術大学名誉教授
	滝沢　具幸	武蔵野美術大学名誉教授　飯田市美術館館長　日本画家
	中島　千波	東京藝術大学名誉教授　日本画家
	栗田　和久	日本放送協会専任ディレクター
	加賀谷早苗	当財団事務局長　舞踊家
監事	高橋　幸彦	多摩美術大学元教授　洋画家
	乙丸　哲延	独立美術協会会員　洋画家
評議員	平松　礼二	当財団評議員　日本画家
	綿貫　京子	当財団評議員　染色家
	北條　正庸	多摩美術大学元教授　日本画家
	齋藤　典彦	東京藝術大学美術学部教授　日本画家
	荒井　　経	東京藝術大学大学院教授　文化財保存修復　日本画家
	野口　玲一	三菱１号館美術館学芸グループ長　元文化庁調査官
	内村　　宏	当財団評議員　元三越伊勢丹美術商品部長

公益財団法人 美術文化振興協会

＜概要＞

●名称　　公益財団法人 美術文化振興協会
●英語表記 The Japan Association for the Promotion of Arts　（英語略称：JAPA）
●目的 この法人は、広く美術家の交流を促進し、日本文化の伝統を基盤とした創作活動を奨励するとともに、諸外国との美術文化交流を図り、もって我が国及び諸外国の美術文化の向上と発展に寄与することを目的とする。

●事業 前項の目的を達成するため次の事業を行う。
1. 美術文化に関する国際交流
2. 美術文化に関する研究会・講演会等の開催
3. 美術文化に関する展覧会の開催
4. 美術文化に関する優れた業績のある者の顕彰
5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

●沿革
1981 年 文部大臣の認可を受けて設立
1981 年 宮本三郎記念賞創設。
　　洋画家・宮本三郎の業績を記念し、優れた具象洋画
　　作品を選考、賞の授与及び受賞作家の回顧展を開催
1982 年 （財）美術文化振興協会賞を創設し、選考と賞品の授与を行う
1982 年 ハーバード大学（アメリカ）への美術家派遣事業開始
1992 年 右卿記念賞を創設し、選考と賞品の授与を行う
2005 年 ライデン大学(オランダ)への美術家派遣事業開始（継続）
2014 年 内閣府から公益財団法人への移行認定を受ける
2019 年 JAPA 天心賞を創設し、第 1 回の受賞者の選考を行う
　　日本アセアン文化交流事業：
　　タイ王国 Queen Sirikit Institute と JAPA の共同開催プログラム
　　“Queen Sirikit Institute との工芸作品・技術を通じての文化交流”を実施
2020 年 第 1 回 JAPA 天心賞の授賞式及び受賞記念展を開催

●事務局 〒167-0053 東京都杉並区西荻南 4 丁目 12 番 4 号
　　TEL: 03-3334-7918 FAX: 03-3334-7919
　　E-MAIL info@finearts.or.jp　ウェブサイト http://www.finearts.or.jp